## 大会期間中のコース使用ルール

## 1. コース閉鎖時間

各日最初のレース開始 1 時間前~最終レース終了 1 時間後まで。 ※コース閉鎖になると下記のとおり航行ルールが変更になるので注意すること。

## (1) スタート方向に向かう場合

①2000m~500m の水域について

回漕のときは原則回漕レーンのみとし、自艇より速い後続艇を先に行かせるときのみ、前方に注意しつつ 6 レーンに移動し、回漕レーンを後続艇に譲ることとする。ただし、その時回漕レーン、6 レーンともに徐行レーンであるため、すぐに止まれる艇速で航行すること。

※回漕レーンでの技術練習など含めて練習は行ってはいけない

②500m~100m の水域について

各自の判断で適宜侵入可能とする(スタート時刻の 20 分前から侵入可能としていた従来のルールは廃止する)が、いったん侵入すると、 $500m\sim1500m$  の水域に戻ることはできない( $1\sim4$  レーンを使用しての練習も禁止)ので注意すること。それ以外は、上記①と同じ。

③100m~0m の水域について

待機水域であり、次のレースに出漕するクルーのみ進入できる。 待機水域にいないクルーは発艇員から競漕レーンへ呼込まれない。

- (2) フィニッシュ方向に向かう場合
- ①0m~500m の水域について

発艇員の呼び込み後、練習水域として使用してよい。一度呼込まれた自己のレーンに入った場合は、スタート方向に戻る場合も自己のレーンを使うこと。

②500m~1500m の水域について

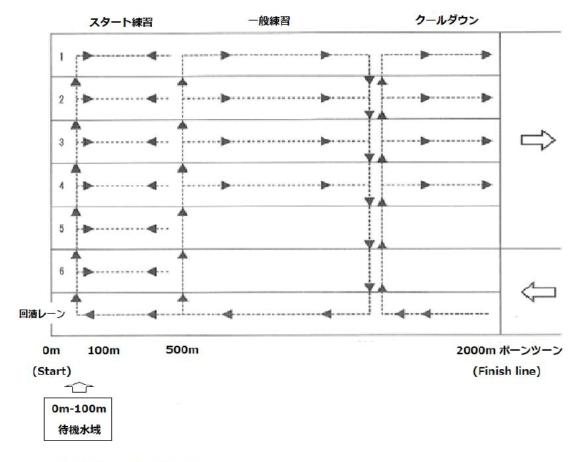
レース通過時より次のレースの発艇まで、 1~4 レーンを使用して練習してよい。前方のクルーに十分注意すること。

※レースが近づいてきたら速やかに回漕レーンへ入ること

③1500m~2000m の水域について

出漕艇のクールダウンにのみレース通過時より次の発艇まで 1~4 レーンを使用してよい。なお、最終日にクールダウンはできない。

また、この水域での練習は禁止する。この水域で練習を行った場合は厳重に処分する。



☆救護所は大会本部に設置しています。